

議会だより



第146号

平成28年7月25日

待ちにまったプール開き

ふれあいセンター改修工事	補正予算	2
長期欠席議員の報酬を減額	条例制定	3
保育所の運営方法は	一般質問	4～6
設備を一新した日高広域消防	委員会レポート	7～8

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

6月定例会

第2回定例会は6月9日から15日まで、7日間の会期で開催した。

今定例会には報告5件、同意1件、議案5件、発議1件が提案され、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり同意・可決した。

一般会計補正予算

既定の予算額に1億717万4千円を追加し、総額42億8120万7千円とする。

— 主な内容 —

園児・児童送迎用バス2台購入1360万7千円、保健福祉総合センター改修費7863万6千円、小規模土地改良事業500万円、消防団員退職報奨金157万7千円など。

問 保健福祉総合センター 改修工事の内容は。

— 改修工事の内容は。

住民福祉課長 空調設備の室内機が61台。同、室外機が13台。照明器具のLEDランプ交換が873台。本年12月までに完

了させたい。

問 同センターで行っている事業は、工事中はど

うなるのか。

住民福祉課長 社会福祉協議会が行っている事業



保健福祉総合センター（ふれあいセンター）

などは、原則としてセンター内で実施場所等を変えながら、計画的に工事

を進める。他の団体の会議室利用などは断る予定である。

問 送迎バスを2台購入する説明を。

総務政策課長 平成10年に登録した、内原小学校の園児並びに内原保育所の園児を同時に送迎している中型バス1台が故障したために買い換えるものである。同様のバスを新車で購入することは、

国土交通省のガイドラインに適合せず、また、改造も困難なため、小型バス2台を購入して対応したい。

問 児童措置費の土地鑑定料の説明を。

住民福祉課長 以前から継続的に探していた志賀保育所の駐車場用

地について、近隣の地権者の方が前向きに協力してくれるとのことであるため、土地と建物の補償鑑定料として計上した。土地の面積は約512㎡で、約20台が駐車できると考えている。

問 子ども居場所づくり推進事業の説明を。

教育課長 小学校4年生～6年生の子どもへの学習支援や、大人との交流事業を実施するものである。具体的には、宿題や家庭学習をする習慣が身



買換えが決まった送迎用バス

についでいない子ども達に学習意欲の向上や、大人とのふれあいによるコミュニケーション力の向上などを指すもので、町内3小学校で実施したいと考えている。夏休み中に各校7回程度実施し、児童の対象人数については、1回当たり10名程度で、1回当たりの時間は3時間以内と考えている。参加費は無料であるが、傷害保険の掛け金として1回当たり50円を頂く予定である。

工事請負契約

比井漁港集落道改良(その1) 工事

契約金額 1億724万4千円

契約の相手方 株式会社 中村建設

5月2日、7社による指名競争入札の結果、株式会社 中村建設が落札した。落札率は96、96%。工期は平成29年2月13日。

問 当初予算で約3億円を予定していたと思うが、詳細説明を。

産業建設課長 当初、避

難道路整備工事費で2億9851万4千円を計上

また、避難道路へ繋ぐ避難路工事に約1千万円を予定している。

問 当初予算説明時には、その1工事部分で、避難

広場を含む延長220mということであった。今

回の工事契約は1億円余りということだが、どの程度の工事を見込まれているのか。

産業建設課長 延長93m

で、避難広場の手前までの施工となる。

問 今年度の今後の見込みは。

産業建設課長 当初の6

割弱の内示という状況である。予算も厳しい状況で、今後の予定は立っていない。



早期の完成が望まれる避難道路(比井)

産業建設課長 その1工事の設計金額は、1億1060万4960円である。その2工事は約4600万円を予定している。

条例制定・改正

日高町長期欠席議員の議員報酬等の特例に関する条例

議員の職責及び町議会への住民の信頼の確保に鑑み、その信頼に反した場合における報酬及び期末手当の減額について定めるもの。

議員報酬等の特例に関する特別委員会は、議員が長期欠席した場合の報酬等の減額を条例で規定することについて、慎重な議論を重ねた結果、今議会において条例を制定することを決定した。

本会議への発議、採決の結果、可決した。

日高町国民健康保険条例の一部を改正(専決処分)

地方税法施行令の一部改正等により賦課限度額の引き上げと、5割、2割軽減の対象となる世帯を拡大するもの。

賦課限度額の引き上げ

基礎課税額(医療給付費分)

52万円 ↓ 54万円

後期高齢者支援金分

17万円 ↓ 19万円

議員報酬の減額

議会活動ができない期間	減額の割合
90日を超え180日以下であるとき	100分の30
180日を超え365日以下であるとき	100分の50
365日を超えるとき	100分の80

期末手当の減額

議会活動ができない期間	減額の割合
6か月以下であるとき	100分の50
6か月を超え1年以下であるとき	100分の70
1年を超えるとき	100分の90

義援金

この度の熊本地震で被害を受けられた方々に対し、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を願い、議員一同で10万円の義援金を送りました。



未来をきづく

Q & A いっぽん質問



土曜日の1日保育の実施を

町長 今年度中に方向性を決める 保育所の運営方法は

榮 茂美 議員

榮 昨年3月議会で、町長は「土曜日の一日保育は要望の高いニーズであり、新たに7名近くの保育士を確保し、それが整い次第、進めていきたい」と答弁したが、確保できたのか。

榮 合わせて5名の減少で、保育士の確保は難しくなってきた。保育士の確保が難しいのであれば、各保育所で行なっている土曜日半日保育を、一カ所の保育所に集めて一日保育にすればどうか。

町長 子どもにとっては、いつもと違う環境への適応の問題があり、保育士にとっても慣れない施設での保育になる場合があり、今のところ実施する考えはない。

榮 新たに7名近くの保育士の確保は、今後できるのか。

町長 保育士は確保したいと思っているが、臨時職員である以上、毎年、全員分を募集することになり、離職と新規採用とで増減し、常に追加ということにはならず、土曜日一日保育を実施するほどの保育士が確保できない。

榮 毎年、多人数の保育士を確保しなければならぬ今の町営の雇用形態が、問題ではないのか。

町長 現状の方法だけでなく、民間の力を借りることも大事であり、民間委託の導入も検討すべきであると考えている。

榮 この問題を先延ばしにしていないか。

町長 保育所の運営方法の検討は、今年度中に十分行ない、運営方法を変更するのであれば、来年度以降の実施に向けた取り組みを行なっていく。

榮 民営化は一部か、全てか。

町長 一部の保育所になるのか、全ての保育所になるのかについても、合わせて検討する。

榮 3保育所の統合の考えはあるのか。

町長 今のところ、私の考えにはない。



放課後子ども教室の設置を

榮 学童保育の利用希望者の増加に伴う今後の対応は、**教育長** やむを得ない措置として、高学年の児童や保護者の勤務時間帯等を勘案して、お断りするかもしれないが、今後の対応として、学童保育所の増設も含め、町長部局と協議をしていく必要があると考える。

榮 学童保育しか選択肢がないため、そこに人が偏って流れ込んでいるのではないかと。放課後子ども教室の設置を望むが、**教育長** 今年の夏休みに取り組む「子どもの居場所づくり推進事業」の成果を踏まえ、課題等を洗い出し改善できる点は来年度の事業に反映・充実させ、今後とも、今回の事業で取り組んでいきたい。



西岡 佳奈子 議員 内陸部大地震の可能性も踏まえ対策を 町長 最善の努力をする



食糧の備蓄は十分か

西岡 備蓄食糧の状況は、
町長 備蓄用ビスケット
4056食、パン缶40
20食、アルファ米30
0食、1.5リットル保存水
3016本、野菜ジュー
ス300缶を備蓄。

西岡 十分な量と思われ
るか。特に水が少ないの
ではないか。

町長 不安な点もあると
思うが、水道貯水タンク
に緊急遮断弁をつけ、確
保できるようにしている。

西岡 備蓄場所を分散さ

せる必要があるのでは。
町長 その方が望ましい
と思うので、用地や倉庫
など検討していきたい。

西岡 避難所の総数と収
容可能人数は。

町長 37カ所まで2567
人の収容が可能。うち耐
震性のある避難所26カ所
では2396人が収容可
能である。

西岡 指定避難所で、耐
震化されていない地区集
会所も耐震化が必要だと
思うが。

町長 現状
では地区集
会所への町
単の補助は
考えていな
い。

西岡 避難
路の確保や
救援活動な
どをスムー
ズに進める
ために、倒
壊の恐れな
ある危険な
ブロック塀
の撤去や耐

震化などへの助成制度に
取り組んではどうか。
町長 実施できるよう取
り組みたい。

西岡 家具転倒防止器具
の設置について、補助制
度などの取り組みを。

町長 県の補助もあるの
で、実施に向け取り組み
たい。

西岡 熊本地震では、福
祉避難所が機能しなかつ
たという報道があった。
当町では博愛園みちし
おとふれあいセンターが
福祉避難所として指定さ
れているが、契約はされ
ているか。

町長 博愛会とは覚書と
協定書を交わしている。
ふれあいセンターは町の
施設なので対応できる。

西岡 福祉避難所として
一定の機能を果たすため
には、社会福祉協議会職
員の皆さんの協力が必要
だと思ふ。そういう話は
されているか。

町長 具体的な話し合い
はできていないので、今
後、取り組みたい。



指定福祉避難所のひだか博愛園みちしお

西岡 内閣府の福祉避難
所に関するガイドライン
では「福祉避難所は、よ
り専門的な支援や援護の
必要性が高い避難者のた
めに確保されるものであ
り、一般の指定避難所で
生活可能な避難者に対し
ては、対象としない旨に
ついて、予め周知してお
く」とされている。この
点についての周知は。

総務政策課長 自主防災
会並びに区長会等で周知
徹底に努めたい。

西岡 福祉避難所の指定

が現在2カ所だが、他の
高齢者福祉施設とも協議
し、提携しておいてはど
うか。

町長 取り組んでいき
たい。

西岡 津波対策だけだ
なく、内陸部の大地震の可
能性も踏まえ防災対策を。
町長 一人も死者が出な
いよう、最善の努力をし
ていきたい。

—他の一般質問—
介護予防・日常生活支援
総合事業について

稲垣 崇 議員



ふるさと納税の税收アップを 町長 早急に、積極的に取り組む

稲垣 ふるさとを離れても、自分が生まれ育ったふるさとを応援できるよ
うにと、平成20年から始
まったふるさと納税につ
いて、町はこれまでどの
ように取り組んできたか。

稲垣 ホームページ上に
ふるさと納税のコーナー
を設け、寄付を頂いた方
々に、礼状と、町の広報
誌を送付していた。平成
27年度からは、『日高町
ふるさと納税推進事業実
施要綱』を制定し、納税
応援事業者を募集、返礼
品を送っている。今後も
引き続き、納税応援事業
者並びに返礼品の充実を
図り、少しでも多くの方
に、寄付を頂けるように
と考えている。

稲垣 近隣のある町では、
昨年、楽天を利用して、
ふるさと納税のPRをし
たところ、一ヶ月で約5
00万円ものふるさと納
税があったと聞いた。当
町もこのような取り組み
としてはどうか。

稲垣 プロジェクトチー
ムを作ってはどうか。
町長 職員には限りがあ
るが、担当課で、しっか
りこのふるさと納税を
推進していくことが大事
なことと考える。今後、
早急に、積極的に取り組
んでいく。

稲垣 日高町内にもう一
つ福祉避難所が増えるこ
とは、高齢者の方にとっ
ても大変喜ばしいことと
思う。町として、この施
設建設に積極的に協力を
していかなくてはどうか。

稲垣 昨年度までの実績
はどうか。

町長 平成20年度は3名
で24万5千円、平成21年
度は3名で29万円、平成
22年度から平成24年度ま
では0件、平成25年度は
2名で6万円、平成26年
度は5名で104万円、
平成27年度は7名で11
9万円、8年間の合計は

稲垣 町を応援したい、日高町
に寄付をしたいと思っ
ただけのよう取り組ん
でいきたいと考えている。
今後は楽天株式会社や
ふるさとチョイスなどに
よる方法も含め、町の魅
力を発信できるように検討
していく。

稲垣 去る5月26日に知
事の行政報告会があった。
翌日、地方新聞2社が、
「障害者や高齢者の福祉
避難所を兼ねた障害者施
設の建設を計画しており、
その場所に荊木にある中
紀地域職業訓練センター
のマツゲングラウンド東
側駐車場を提供してもら
えないか。と知事に要望
した。」と第一面で報
じていた。この記事を読ん
で、私は大変感銘を受け
たが、町長はどう感じた
か。

稲垣 現在の2カ所であ
るが、今後、そういう対
象になる場所とも協定を
結ぶような形で考えてい
かなければならないと思
っている。

町長 ふるさと納税は、
自主財源の乏しい当町に
は貴重な財源の1つであ
ると考えている。数多く
の市町村の中から、日高

稲垣 『福祉避難所は2
カ所』ということだが、
この2カ所で、十分に足
りているのか。

町長 現在は2カ所であ
るが、今後、そういう対
象になる場所とも協定を
結ぶような形で考えてい
かなければならないと思
っている。

町長 現在2カ所であ
るが、今後、そういう対
象になる場所とも協定を
結ぶような形で考えてい
かなければならないと思
っている。

日高町の返礼品一例（イメージ写真）



あわび

ク工鍋セット

避難所を兼ねた 障害者施設設置に協力を

町長 今回の件について
は、私としても、大変有
り難いことと期待したが、
当該施設の今後の利用予
定との兼ね合いから、今
回は叶わなかったよう
である。町としては障害児
者福祉の向上に、できる
だけの支援、協力を今後
もしていくつもりである。

町長 日高町だけが協
力していくということ
は、大変なことだと思
う。その点については、
町村会・御坊市が足並
みを揃えて、それを支
えていくという形が
一番良いと考える。
私もできるだけ協
力をしていきたいと思
っている。

委員会レポート

総務福祉常任委員会

日高広域 消防本部を訪問

総務福祉常任委員会は、去る4月25日、日高広域消防事務組合消防本部の視察を行った。

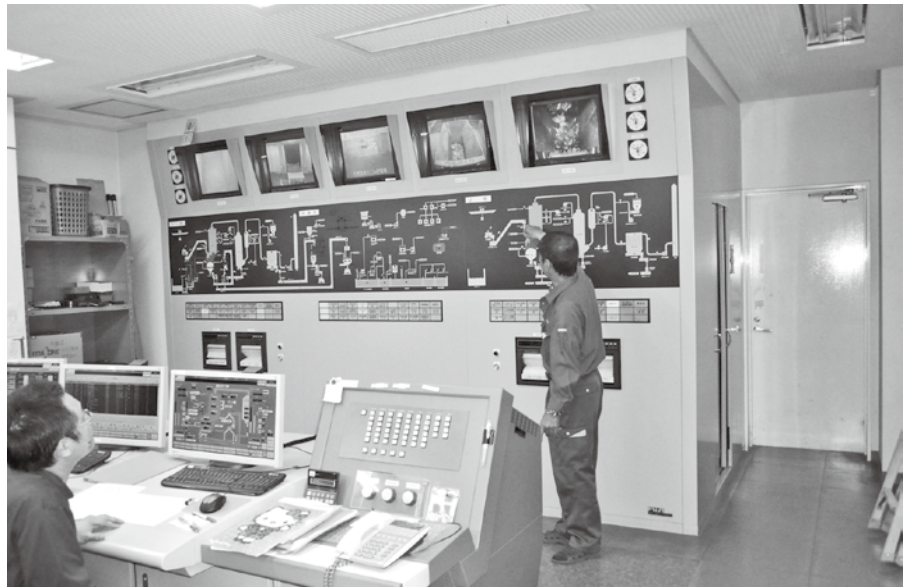
始めに、組合の沿革や予算、各部署の担当業務内容等について説明を受けた。次に、消防司令センター並びに、デジタル無線システムの説明を受けたあと、消防本部に配備されている各種車両の特徴や機能の説明を受け、最後に郡内一の最新型車両である大型特殊車両の機能説明を受けた。

監査委員に 田口英穂氏

監査委員の選任について同意を求められ、同意した。



田口 英穂氏（再）



高機能消防指令センター

平成27年度から運用を開始した高機能消防指令センターは、従来の固定電話はもちろんのこと、IP電話からの通報も同時に位置確認が出来、携帯電話については、GPS機能を利用して位置を特定出来ることから、より速く、より確実に現場

へ向かうことが出来るシステムとなっていた。救急や災害・火災の現場では、1分1秒の遅れが被災者の生命や財産を失うことに繋がるため、たいへん頼もしく感じられたが、救急や災害、火災が重なった場合は周辺からの応援体制や、消防

団との連携も必要な場合が出てくるなど、休日であっても緊急に出動・出勤する過酷な勤務体制であるのも実状であった。また、大型特殊車両については、他府県で災害

応援部隊として大いに活躍できるものだと感じた。同時に運用を開始したデジタル無線システムと併せて、その成果を大いに期待するものである。



各種の緊急車両が並ぶ

委員会レポート

産業教育常任委員会

砂防事業・避難路等を視察



拡幅をする町道高家中央線

委員会は去る4月27日、砂防事業、町道高家中央線改良工事、比井避難路新設工事について産業建設課から説明を受けた。砂防事業については、本年度より実施する池田

地区鎌田谷川、下志賀地区平野谷川、高家地区三又谷川の3地区の説明を受けた。本事業は県営事業で実施され、4～5年で完成予定とのこと、負担割合は国50%、県50%で町及び地元負担金は不要である。採択基準は「1件当たり事業費で1億円以上」、「土砂災害危険箇所の公表等の警戒態勢にかかわる措置を持たれているもの」、「今後の豪雨等により多量の土砂が流下する恐れがあり、民家や公共施設等の保護に効果があるもの」となっている。本年度は主に測量設計とのことであった。委員からは町内の危険箇所などについて質問があった。



比井地区避難道路

次に、町道高家中央線改良工事について説明を受けた。全体概要は総延長780m、車道幅員5m、歩道幅員1.5m、事業費は約5億円、負担割合は国65%、町35%、本年度は要望額5千万円で橋梁の詳細設計、用地買収、物件補償、工事とのことであった。委員からは橋梁の高さや河川との交差角度、地元区及び地権者への説明状況等質問があった。計画は5力年であるが、予算の配分等により完成が前後するとのことであった。

最後、比井地区避難道路新設工事について説明を受けた。この工事は漁村再生交付金事業により実施するもので、工事の概要は避難道路が延長1019m、幅員5m。避難路は2力所あり、延長272m、幅員は2m、避難場所は2力所で、面積は2660㎡、総事業費は約1億5500万円。負担割合は国50%、県10%、町40%、本年度は3億円（現在は1億6千万円の内示）を予定しているとのことであった。

3地区とも本年度は測量設計であり、工事着手には至っていないため、中志賀地区の三河谷川の砂防堰堤を視察した。今回、説明を受けた事業については、国の予算配分により完成が遅れる恐れがあるが、災害にかかわる事業であるため、計画通りの完成、さらに早期の完成ができるよう関係機関へ強く働きかけるように要望した。

編集後記

まず、4月16日の熊本地震により被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

さて、私事ですが広報カメラマンになり早一年半が経過しております。中々、満足の出来る写真が撮れていないかもわかりませんが、町内の皆様に被写体のご協力に伺った際には、是非ともよろしくお願いたします。

また、これから暑い夏を迎えようとしております。皆様方も体調には十分気をつけていただき、平穩無事で過ごせることをお祈りいたします。

井垣 弥

